

## 平成 22 年度 第 1 回 練馬区入札監視委員会 議事概要

- 1 開催日時 平成 22 年 6 月 30 日（水）午前 10 時～12 時
- 2 開催場所 練馬区役所 本庁舎 5 階 庁議室
- 3 出席者  
委員 松井委員、峯岸委員、明円委員  
区 総務部長、経理用地課長、施設管理課長、商工観光課長、  
道路公園課長、計画課長、学務課長、契約係長、同係職員

4 傍聴者 なし

5 議事

(1) 審議案件

- ①平成 21 年度後期入札案件の参加資格設定経過等について
- ②練馬区競争入札参加有資格者指名停止基準の改正について
- ③委員会の所掌事項の追加について
- ④区契約からの暴力団排除の徹底について

(2) 報告事項

- ①業務委託成績評価制度の試行実施について
- ②工事契約における電子入札・制限付一般競争入札の対象拡大について
- ③区に寄せられた談合情報について
- ④平成 21 年度後期入札・契約手続きの運用状況の報告について

6 会議の内容

### ■前回議事録の確認について

→全委員了承。

### ■平成 21 年度後期入札案件等について（審議）

#### ●抽出案件の説明

（委員）

当番委員である私より、今回の抽出した 4 件について、抽出理由を説明する。

1 路面改良工事（その 1 1）【ほか複数案件】

- ①年間の路面改良工事の発注について、予算配分方法、発注時期の決め方について確認したい。

- ②20年度、21年度の路面改良工事の契約状況（金額、落札率、相手方等）を確認したい。
- 2 地上デジタル放送対応テレビ等の購入（豊玉小学校ほか8校）【ほか複数案件】
- ①地区ごとに分割して発注しているが、その理由、経緯を確認したい。
- ②落札率にバラつきがあるが、その理由を確認したい。
- ③同じ業者が複数案件を落札できるか否かを確認したい。
- 3 （仮称）練馬区立北大泉公園整備工事【ほか複数案件】
- ①造園工事は、土木工事や建築工事と比較して落札率が高い。どのような理由が考えられるか。
- 4 練馬アニメカーニバル2009企画運営委託
- ①「練馬アニメーション協議会」とは、どのような団体であるか確認したい。
- ②同協議会への随契の経過を確認したい。

以上4件である。

●抽出案件1

路面改良工事（その11）【ほか複数案件】

（事務局）

今回、複数ある路面改良工事について、発注にいたるまでの流れ、特に、予算配分方法、発注時期の決め方を確認したい、また、近年の入札結果を確認したい、ということで抽出となった。

1点目の発注までの経過であるが、路面改良工事は、工事を施工する前年度の8～11月頃、区内の4つの土木出張所が、担当エリア内の区道の状況を実際に確認し、工事の必要性から優先順位を決定している。

その後、道路に関連する組織や企業、例えば、上下水道、ガス、電気、NTTなどの関係者による道路調整会議、これは道路法に基づき設置される会議であるが、ここで、同じ場所を何度も工事することのないよう、効率性・合理性の視点から調整を行った後、翌年度の工事の実施箇所を決定する。

予算配分については、優先順位の高い場所から、各工事の工法や工事規模に応じて配分し、調整会議で他関係者の工事や優先順位等を調整した上で、順次発注している。

2点目の近年の入札状況については、配付資料のとおりである。

（委員）

20年度、21年度の落札状況の一覧を見ると、全体的に21年度の方が落札率が下がっている。予定価格の算出方法等、何かの変更によるものなのか。

(道路公園課長)

道路工事に関して、予定価格の算出については、国および東京都の単価を基準に設定しているが、前年度と比較して、大きく変わってはいる訳ではない。

(経理用地課長)

個々の案件の落札率は、各事業者の手持ち工事数、技術者の状況など様々な要因からくるもので、その理由を明確に推定することは難しい。全体的に見ると、このような経済状況でも会社を運営していくために、各事業者が努力をして入札をしているものと考えられる。

(委員)

落札率について、他の自治体の状況はどうか。

(経理用地課長)

東京都の状況は、一部確認している部分もあるが、他自治体の状況は確認していない。

(委員)

路面改良工事は、どの程度の周期で実施しているのか。

(道路公園課長)

予算上は、100年に1回の周期となっている。ただし、他の企業による工事を含めれば、20～30年に1回実施するペースである。

(委員)

工事の実施周期は、現場調査で判断するのか、それとも工事台帳のようなものがあるのか。

(道路公園課長)

台帳を作成し把握している。加えて現場調査も行う。

(委員)

工事の面積・長さは、どのように決めているのか。

(道路公園課長)

迂回路等、現場の状況を確認した上で、警察とも協議しながら、地域住民の生活に影響のない範囲ごとに実施している。

★委員会最終意見

入札手続は、適切に実施されている。

● 抽出案件 2

地上デジタル放送対応テレビ等の購入（豊玉小学校ほか8校）【ほか複数案件】

（事務局）

この案件については、地区ごとの発注の理由・経緯を確認したい、また落札率のバラツキの点や、同じ業者が複数案件を落札できるか否かの点から抽出となった。

今回のテレビの購入は、文部科学省の補助金を受けて実施するもので、この補助金の交付に際して「地域経済活性化の観点から、地域の中小企業の受注機会の増大に努める」よう指示が付いている。そこで、区内の規模の小さい事業者が受注できるよう、13の区域に分けて発注した。この区域については、設置作業に伴う連絡調整等にも配慮し、学校長会の地域分けを参考に設定した。

落札率については、入札参加者が、案件ごとに納期や採算性、物品の流通状況などを勘案して見積り、入札しているため、区としては、その理由を推定することは難しいと考えている。

同一業者による複数案件の落札については、工事入札の場合は、受注機会均等の観点から、同一業者の受注制限を設けているが、物品購入案件の場合には制限を設けていないため、複数案件を落札することも可能となる。

（委員）

同一の事業者が複数案件を落札している状況について、補助金の主旨と合っていないのではないか。

（経理用地課長）

この案件は、指名競争入札で実施したが、指名に際しては、区内の条件を満たす事業者、約20社に対し、均等に1社あたり全13案件中、4～5案件に指名している。

結果として、複数落札した事業者もあったが、指名については公平性に配慮していると考えている。

（委員）

補助金の規模は、どの程度か。

（学務課長）

学校情報通信技術環境整備補助金、および地域活性化経済危機対策臨時交付金により、

今回の経費の、ほぼ全額が補助対象となっている。

★委員会最終意見

入札手続は、適切に実施されている。

● 抽出案件 3

(仮称) 練馬区立北大泉公園整備工事【ほか複数案件】

(事務局)

今回、造園工事全体について、比較的、落札率が高いという点で抽出となった。

入札一覧表で見ると、確かに、比較的、他の工事よりも落札率は高く見受けらる。しかしながら、入札結果については、様々な要因が考えられ、入札参加者は、案件ごとに工期や採算性、技術者の確保などの状況を勘案のうえ積算して入札しているため、落札率の根拠は、前の2件の案件と同様に推定が難しい。

(経理用地課長)

業種ごとの21年度平均落札率をみると、造園工事が90%を超えている一方、その他の業種はすべて90%を下回っている。

(計画課長)

造園工事の特殊性の点として2点が考えられる。

1点目は、造園工事に多く含まれる遊具等の設置工事は、地域住民の要望に答えて個々の案件ごとに発注しているため、土木工事や建築工事のように東京都や国の単価表から一律に積算できるものではない。そのため、例えば遊具1件ごとに専門業者との価格交渉ということになり、受注者の積算努力が働きにくい状況になっている。

2点目は、生き物である樹木を移植する場合、休眠時期である12月～3月の間に行わなければならない、この時期に発注が集中するため、需給のバランスの中で競争性が働きにくくなっていることが考えられる。

(委員)

造園工事の落札率が高い、というよりも、その他の工事の落札率が低すぎる、という視点で捉える必要もあるのではないかと考えるが、どうか。

(施設管理課長)

建築工事、電気工事、機械工事については、東京都の積算単価に準じて算出しているため、予定価格は適切に算出しているものと考えている。

一方、昨今の経済状況から、民間工事の発注が少なくなっており、公共工事に参入する事業者が増え、競争性が高まっていることも落札率が低い要因として考えられる。

(道路公園課長)

土木工事についても、年間を通じて多数の事業者が参入しているため、結果、低い落札率につながる事が考えられる。

(経理用地課長)

低い落札率については、様々な要因が考えられるが、厳しい経済状況を踏まえ、区としては、最低制限価格の引き上げなど制度面でも対策を行っている。

今回の統計資料については、参考として業種別の落札率についても記載する。また、他の自治体の落札率についても、可能な範囲で確認したいと考えている。

★委員会最終意見

入札手続は、適切に実施されている。

● 抽出案件 4

練馬アニメカーニバル2009企画運営委託

(事務局)

この案件については、練馬アニメーション協議会との随意契約の経過を確認したいという点から抽出となった。

この練馬アニメーション協議会は、区のアニメ産業の育成について協議、意見交換を行う団体として、区内のアニメ関連事業者の多くが会員となっている。

この協議会には、カーニバルで使用するアニメキャラクターの著作権を持つ多くの事業者が加盟しているため、使用許諾の調整の点から、随意契約を行った。

現在、練馬区は、アニメ産業を重点産業として強化し、地域経済・区内産業の活性化を図っており、この点からも、この協議会に委託をしている。

(委員)

委託金額については、どのように考えているか。

(商工観光課長)

金額については、先方からの見積りを受け、予算の範囲内で決定し、契約を結んでいる。

(委員)

協議会の組織は、民法上の組合なのか、人格なき社団なのか。

(商工観光課長)

人格なき社団である。

(委員)

この団体の収支について、確認しているか。余剰金についてはどうか。

(商工観光課長)

今回の契約に際してではないが、協議会の決算は確認している。余剰金については、著作権等の関係もあり、判断が難しい。

(委員)

今回のイベント事業について、事業実施の評価は行っているのか。

(商工観光課長)

豊島園、西武鉄道、練馬区観光協会などの関係団体によるアニメカーニバル推進連絡会において、今回のイベントの検証を行っている。

また、区としても、アニメに関する区民意識意向調査の中で、アニメについて理解が進んだという意見を多く受けており、このようなイベントの効果もあったものと考えている。

#### ★委員会最終意見

入札手続は、適切に実施されている。

#### ■練馬区競争入札参加有資格者指名停止基準の改正について（審議）

#### ■委員会の所掌事項の追加について（審議）

(経理用地課長)

→資料5に基づき、指名停止基準の改正について説明。

(委員)

指名停止情報の公表について、公表事項、公表方法は、どのようなものを考えているか。

(経理用地課長)

事業者名、停止期間等をホームページ上に公表する予定である。なお、23区中12区がすでに公表を行っている。

(委員)

再苦情の申立てがなされ、当委員会で理由がないとした場合、裁判となる可能性もある。審議方法について、あらかじめ考えておく必要があるのではないか。

(委員)

新しい制度であり、実際に審議することとなった場合は、その状況に応じて進めることになる。

(委員)

入札監視委員会の審議が、事業者への措置になるのか。

(経理用地課長)

措置自体は、区長が行うことになる。

★委員会最終意見

資料の内容で、指名停止基準の見直しを行い、また、再苦情の申立て制度を設けることとする。

■ 区契約からの暴力団排除の徹底について（審議）

(経理用地課長)

→資料5-2に基づき、暴力団排除について説明。

★委員会最終意見

資料の内容で、暴力団の排除に取り組むこととする。

■ 業務委託成績評定制度の試行実施について（報告）

(契約係長)

→資料6に基づき、業務委託成績評定制度の試行実施について説明。

■ 工事契約における電子入札・制限付一般競争入札の対象拡大について（報告）

(契約係長)

→資料7に基づき、電子入札・制限付一般競争入札の対象拡大について説明。

(委員)

特殊な案件を除いて、将来的には全て電子入札に移行するという考えで良いか。

(経理用地課長)

そのように考えている。

■ 区に寄せられた談合情報について (報告)

(経理用地課長)

→資料8に基づき、談合情報について説明。

■平成21年度後期入札・契約手続きの運用状況について (報告)

(契約係長)

→資料9に基づき、平成21年度後期の契約件数統計を報告。

→資料10に基づき、平成21年度後期の指名停止措置状況を報告。

■次回開催日程

平成22年8月30日(月)14時から16時まで

以上